

# あす 未来の長生を考える

おだか陽一後援会だより

発行者  
おだか陽一後援会  
発行責任者：小高信一  
長生村岩沼619  
TEL・FAX (32) 3949

令和6年 会報  
第2号

**強敵現る  
村長選**

去る十二月の村議会において、小高村長が本年六月の村長選挙に立候補する意志を表明して以来、「今回も無投票か」との噂が流れていました。二月に入り、石井村議が後援会長となり、Y氏を擁立し選挙戦にのぞむとの情報がありました。実際に石井氏がY氏を連れ、戸別訪問をしているとの情報もあります。

Y氏の人物像はよく解りませんが、小高村長の前任者である石井氏とは一期目、二期目と選挙を戦い、接戦を制した過去があり、その石井氏の後押しとなれば全力でぶつからなくてはなりません。後援会の皆さんはさらに強く結束し、小高村長への支援を村民に訴えていきましよう。

### 過去の選挙結果

H24(2012) 67.06%

**おだか陽一 3,779**

石井としお 3,722

山崎ひろし 635

H28(2016) 68.48%

**おだか陽一 4,283**

石井としお 3,926

R2(2020)

**おだか陽一**

**無投票当選**

**羽ばたこう  
明日に向かって**



おだか陽一後援会  
会長 小高 信一

新型コロナウイルスが五類に移行された今、感染者は依然として見受けられるようですが、私たちの生活も通常の日常を取り戻しつつあります。皆様にはなお一層のご自愛をお願い申し上げます。

さて、おだか陽一後援会は、二月十一日に総会を開催し、多数の会員が出席のもと令和六年の事業、予算及び役員体制が決議され活動を開始しました。

後援会活動にあたり、今年には任期満了に伴う長生村長選挙の年であります。小高村長は、村民の皆様が願う多くの施策や事業を実施してきました。

しかし、とりまく環境の急激な変化、多様化する社会のニーズに的確に対応し、

責任ある村政を推進するため、更なる施策が必要と判断し、既に、本誌でお知らせしましたとおり、本年六月に行われる長生村長選挙に、再度挑戦することとなりました。

おだか陽一後援会は発足後十二年となりますが、この間、毎月実施している事務局会議、二ヶ月ごとに実施している役員会議で小高村長に出席を求め、意見交換を行い、意思疎通を図ってきました。この村の将来を真剣に考えており、村政を託すことに相応しい人材です。

会報二号発行にあたり、皆様には、この十二年間の小高村政を客観的に判断していただき、再度、立候補を予定している小高陽一君に対し、おだか陽一後援会とともに、ご支援を賜りたくお願いを申し上げます。



後援会総

**『夢がある、生きがいを感じる、住んで良かった長生村』の実現を目指して**



村長 小高 陽一

来る六月三十日投票の長生村長選挙に私以外の方が手を上げられたことは、厳しい戦いになるものと覚悟しています。

ご支援をいただいている皆様には大変なご心配をおかけしますが、四年前無投票で現在まで、自分への支持数がわからず逆に不安でもありました。

住民の皆様にとっても私の十二年間の村政に対する評価、これから四年間の公約に対する期待と選択ができることは大変重要です。

私としては、もう一期四年をいたただき、私のキャッチフレーズである「夢があ